

## 第30回国民文化祭・かごしま2015

本物。鹿児島県 ～文化維新は黒潮に乗って～

・主催事業：平成27年10月31日（土）～11月15日（日） 16日間

★ 国民文化祭室ニュースレター ★ No.022（平成26年9月22日発行）

### 県実行委員会情報！「生活文化総合フェスティバル」でとりあげるダンボールアートについて御紹介します！！

第30回国民文化祭・かごしま2015では、100を超える事業が予定されています。その一つ、「生活文化総合フェスティバル」で実施予定のダンボールハウスづくりについて、イベントに参加してきましたので御紹介します。

「ダンボールハウス」の実施主体は、鹿児島のNPO法人P and A（ピーアンドエー）です。NPO法人P and Aは、みんなが日常的に文化芸術に親しむ生活を目指し、様々な活動をしています。「ダンボールハウス」はその一つで、家族や友人など近しい人たちと一緒に、段ボールのミニチュアハウスを作りあげるものです。

シンプルなデザインのダンボールハウスですが、話し合い、協力しながら一緒に作っていく中で、作る人の個性や創造性がどんどん引き出されていき、完成したハウスは、一つとして同じものはありません。



ダンボールハウスづくりのワークショップもあちこちで開催されています。今回の会場は「かわなべ森の学校」。南九州グリーン・ツーリズム協議会が管理する施設です。

平成2年に廃校になった長谷小学校を活用しており、見上げるような大きなクスノキや、昭和8年建築の木造講堂（中はなんと畳敷き！）など、レトロな雰囲気たっぷりです。

当日は断続的に雨が降るあいにくの天気でしたが、それもまた魅力的な雰囲気を醸し出していました。





かわなべ森の学校には、鹿児島市などから多くの親子連れが参加しました。イベントの流れなどについて説明を受けた後、教室に移動してダンボールハウスづくりです。

基本となるダンボールハウスを作ったあとは、PandAの皆さんが用意してくれた、カラフルなボタンや毛糸、ドングリなど自然の素材をくっつけたり、クレヨンで色をぬっていったり。子供たちの創造力で、個性的なハウスが出来上がっていきます。



子どもたちがハウス作りに夢中になっている間、大人向けのイベントとして、藻谷浩介さんによる講演会が開かれました。「デフレの正体」や「里山資本主義」などのベストセラーの著者のお話を、こんな間近で聞けるとは…。藻谷さんからは、逆転の発想により地方が豊かになる時代についての熱いメッセージをいただきました。



その間に、地元の長谷集落の皆さんは何か忙しそうに準備しています。

もうすぐお昼ですが、ひょっとしてこれは…。

ハウス作りと講演会がひと段落ついて、昼食時間となりました。講堂に集まると、なんと、地元の皆さんから郷土料理の振る舞いが！

ガネ（さつまいものかき揚げ）や煮しめ、冷や汁など、懐かしく優しい味わいの料理に箸が進みます。



午後からは雨も上がってきました。子供たちが元気に遊びまわる校庭で、最後のイベントとしてピザづくりが始まりました。レンガを積んでピザ窯を作り、火起こしをした後は、自分たちで好きな材料をトッピングし、手作りピザを焼き上げます。

朝から晩まで、盛りだくさんの1日でした。



来年の国民文化祭では、鹿児島アリーナで、ダンボールハウスづくりのワークショップを行います。茶道や生け花、着物など、日常に根差した豊かな生活文化に触れるとともに、世界に一つだけの夢の家を作ってみませんか？



#### 【生活文化総合フェスティバルの概要】

日 時：平成27年11月14日（土）～15日（日）

会 場：鹿児島アリーナ

事業概要：中央団体による様々な生活文化等に関する展示・実演・ワークショップ、鹿児島県の伝統工芸品や伝統文化に関する展示・実演・ワークショップ、焼酎や郷土料理などを提供する食のイベント、参加団体等によるステージ発表等

※ キッズコーナーでは、ダンボールハウスづくりのワークショップも行います。

## 市町村情報！「第45回種子島鉄砲まつり」での国民文化祭PR (西之表市実行委員会)

平成26年8月24日(日)に、西之表市実行委員会が、種子島最大のお祭り「第45回種子島鉄砲まつり」において、第30回国民文化祭・かごしま2015のPRを行いました。

今年で45回目を迎える歴史ある「種子島鉄砲まつり」。祇園祭の流れをくむ「太鼓山行列」や、色とりどりの大漁旗を掲げた漁船がパレードを行う「港まつり」に続き、火縄銃の試射を合図に「南蛮パレード」が始まります。



何と！今回は、国文祭宣伝カー(いわゆるデコトラ)が登場！西之表市主催事業をPRした「ミニうちわ」や「ラベル」封入のポケットティッシュも用意して、ぐりぶーと一緒に鉄砲館キッズコンシェルジュ(\*)の皆さんが配布しました。

(\*)夏休み期間中、種子島開発総合センター(鉄砲館)の案内等を通じて、種子島の魅力を伝える小学生ボランティア



出発前、子どもたちに励まされる  
ぐりぶー「一緒にがんばろーね♪」



国文祭PR隊、いざ出発！  
パレード後方からしっかりPR！



PR隊の先頭は、西之表市オリジナルの横断幕を掲げ、国文祭をアピール。BGMはもちろん「タイムカプセル」♪



同市のこれまでの広報宣伝活動により国文祭PR隊長・ぐりぶーは、島内でもすっかりお馴染みの様です。



子どもたちの頑張りに、沿道の観客の皆さんも応えます。



【ぐりぶー休憩の図】子どもたちがうちわで扇いでくれました（嬉）

このパレードでは、用意したうちわ2,000枚を配りました！

ぐりぶーは種子島でも相変わらずの人気ぶり。鉄砲館キッズコンシェルジュの温かいサポートも受けながら、沿道からの大声援や握手＆撮影会の様な状況に応えつつ、パレードの最後まで国文祭のPRに務めました。

国文祭PRは、昼間だけに留まりません！元気いっぱいのPR隊は、まつり夜の部「演芸大会」の会場（日泊みなと公園）にも登場しました。

まずはステージでのPR！この日の披露のために、鉄砲館キッズコンシェルジュが同市実行委員会スタッフと一緒に一生懸命練習した“ぐりぶーダンス”を披露しました。



スター★ぐりぶー控室での様子  
「僕の出番はまだかな？」



鉄砲館キッズコンシェルジュはお揃いの  
ステージ衣装で気合いが入ります。



カンパキな踊りを披露する子どもたち



果たしてぐりぶーは上手く踊れている  
のでしょうか・・・？



ぐりぶーと子どもたちの楽しいパフォーマンスにより、ステージが注目される中、  
国文祭のPRアナウンスもしっかりさせていただきました！



ステージパフォーマンスの後も、お楽しみの花火が打ち上がるまで来場者に存分にPR！この夜の部だけでも、うちわを2,000枚配りきりました。

ステージをご覧になった方々から、国文祭事業について個別にお声がけいただけるなど、今日1日のPR効果を実感しながら、まつりは終了となりました。



国民文化祭・西之表市実行委員会では、華道の歴史を辿るとともに、街中がいけばなで彩られる「華道の祭典 in 種子島」と『火縄銃』と『甘藷（サツマイモ）』にスポットを当てた「黒潮文化交流の祭典」の2事業を開催します。

また、鉄砲まつりのイベント会場でもあった「日泊みなと公園」では、開会式・オープニングフェスティバルのサテライト会場になる予定です。

今年11月には、プレイベント「いけばな展」も開催するなど、今後もあらゆる機会を捉えて国文祭情報を発信していきますので、併せて御期待ください。

#### 【西之表市で開催される国民文化祭の事業】

| 主催事業名                        | 会 場        | 開催時期                           |
|------------------------------|------------|--------------------------------|
| ① 華道の祭典 in 種子島               | 西之表市民体育館 他 | 平成27年10月31日(土)<br>～11月 3日(火・祝) |
| ② 黒潮文化交流の祭典                  | 日泊みなと公園    | 平成27年11月 8日(日)                 |
| ★ 開会式・オープニングフェスティバル(サテライト会場) | 日泊みなと公園    | 平成27年10月31日(土)                 |

### 市町村情報！「おおすみ-かごしま芸術祭」が開催されました (肝付町実行委員会)

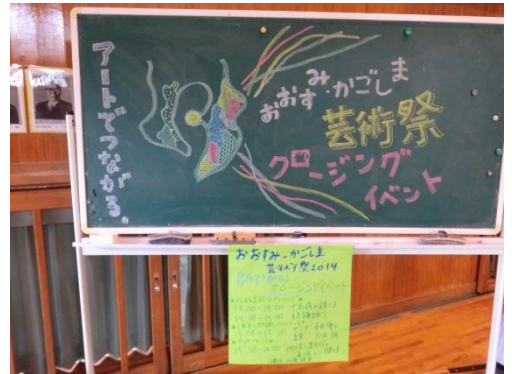
雨が多く、西日本では昨年より涼しい日が続いた今年の夏。夏休み最終日の平成26年8月31日(日)、肝付町で「おおすみ-かごしま芸術祭2014」のクロージングイベントが開催されましたので、その模様をレポートします。

「おおすみ-かごしま芸術祭2014」は、「鹿児島県各地域をアートイベントでつなぐ広域循環型複拠点芸術祭」と銘打ち、7月15日(火)から8月31日(日)まで、県内4市4町で展示やパフォーマンス(音楽、ダンス)、ワークショップなどを展開しました。企画の中心を担ったのは、肝付町の地域おこし協力隊員であり、コンテンポラリーダンス作家のJOU(じょう)さんです。

メイン会場は肝付町の川上地区。川上中学校の本校舎(平成23年休校、国の登録有形文化財)をはじめ、どこか懐かしい雰囲気を漂わせる風景が広がっています。

クロージングイベントは、中学校のすぐそば、川上小学校の体育館で開催されました。





まずは「伝統芸能ワークショップ」として、川上地区の鐘つきの実演が行われました。つき方を音で示した紙が配られ、お手本が示された後、観客の方が実際についてみました。単純なように見えて、なかなか難しいです。



続いて、この日のために練習した皆さんにより、波見荒瀬地区に伝わる棒鎌踊りが披露されました。実際に鎌を持ち、流れるような動作で、立ち位置を替えながら踊ります。

会場には、川上地区の皆さんも多数参加され、思い思いに座って観覧していました。エアコンのない体育館ですので、水分補給は欠かせません。…おや？何か別のものが見えるような（笑）



休憩時間を挟んで「演奏～即興パフォーマンス」が披露されました。

倉敷市のダンサーの平井優子さんによるダンスと、鹿児島国際大学教授の久保禎さんによるピアノ、オーボエ奏者の片倉聖さんによるオーボエの共演です。童謡「海」をアレンジした曲など、久保さんの美しいピアノの旋律に、平井さんののびやかなダンスや片倉さんの繊細なオーボエが絡み合い、会場に響き渡ります。

最後は、JOUさんも加わって、4人でのパフォーマンスとなりました。体育館なので照明はほとんど自然光ですが、4人のアーティストが即興で紡ぎだすパフォーマンスは、小学校の体育館を立派な芸術会場に変えていき、観客を魅了しました。





イベント終了後、芸術祭アフタートークが開かれ、「地域と芸術の美味しい関係」と題して、公益社団法人企業メセナ協議会専務理事の加藤種男さんが講演を行いました。

種田さんは、「芸術祭が継続していくためには、地域に受け入れてもらうことが必要」と語り、「おおすみ - かごしま芸術祭」の来年の開催に向け、エールを送っていただきました。



「おおすみ - かごしま芸術祭」は今年で3回目です。人と人のつながりそのものをアートととらえ、街に飛び出し、様々なイベントを通じてつながりの輪を広げています。

4会場での開催で始まった芸術祭は、今では20会場以上となり、開催市町村も広がりを見せていますが、JOUさんたち主催メンバーは、鹿児島県内すべての市町村を開催地域に色塗りしたいと考えています。

来年度は肝付町主催「おおすみ芸術祭」が開催されます。人と人のつながりは国境を超え、海外アーティストとの交流も予定されています。小さな町を拠点にアートでつながる芸術祭。その更なる進化と発展を、ぜひ御覧ください。



【肝付町で開催される国民文化祭の事業】

| 主催事業名        | 会場        | 開催時期                |
|--------------|-----------|---------------------|
| ①郷土芸能フェスティバル | 肝付町文化センター | 平成27年11月8日(日)       |
| ②おおすみ芸術祭     | 肝付町体育館    | 平成27年11月1日(土)～8日(日) |

## 皆様からの御意見・御提案等の御紹介（情報提供）

県民の皆様からいただきました御意見・御提案を御紹介します。参考にさせていただけたら幸いです。

### 提言内容（県外参加者に対するおもてなしについて）

- ・ 国民文化祭のすべての会場で、昼食時、「茶節」を提供してはどうか。

【茶節に必要な材料】「削り節」「味噌」「お湯」

### 趣旨（要約）

国民文化祭・かごしま2015は、鹿児島を訪れて下さる県外のお客様に、鹿児島の魅力を知っていただける最高のチャンスであり、「食」の分野から提言します。

鯉節は、和食には欠かせない「だし」ですが、最近では化学調味料を使う家庭も多く、鯉だしのおいしさを知らない子どもたちも増えていると聞きます。

国民文化祭を契機に、われわれ鹿児島県人も茶節を再認識し、国民文化祭に訪れた県外のお客様におもてなしをしてはいかがでしょうか。

茶節は、味噌（いなかみそ）と削り節（荒い粉状のものがベター）とお湯さえあればその場で簡単に作ることができるので、国民文化祭のすべての会場で茶節を提供し、この味を覚えて帰ってもらいたいと思います。



☆皆さんからの御意見・御要望をお待ちしております。☆

【発行元・問合せ先】

第30回国民文化祭鹿児島県実行委員会事務局

(鹿児島県県民生活局国民文化祭室内)

〒890-8577 鹿児島市鴨池新町10-1

TEL : 099-286-2863、2846

FAX : 099-286-5597

E-mail : [bunkasai-junbi@pref.kagoshima.lg.jp](mailto:bunkasai-junbi@pref.kagoshima.lg.jp)

